

# 取扱説明書

## ハンドグリースガン (KH・CH・GC シリーズ)

### 1. はじめに

このたびは、ヤマダのハンドグリースガンをお買い上げいただき、厚く御礼申し上げます。  
本書は、お使いになるハンドグリースガンが故障なく十分にその性能を発揮するよう、正しい使い方及びご使用上の注意について説明したものです。十分熟読し、ご理解いただきますようお願いいたします。  
なお、環境保全のためメッキ処理が三価クロムメッキとなり一部変色のように見えますが、機能上は問題ありませんのでご了承願います。

### 2. 使用上の注意事項

ハンドグリースガンは、グリースを高圧で吐出します。自分の手または人に向かって吐出させると重傷となる恐れがあります。下記の注意事項を守ってご使用ください。

**⚠ 警告**

- !** - ハンドグリースガンを使用する前に、給脂ノズル、給脂ホース、ネジ部などの損傷がないことを必ず確認してください。
- !** - 給脂作業の際には適切な保護具(保護メガネ、保護手袋など)を必ず着用してください。
- !** - ハンドグリースガンの操作が重かったり、グリースが先端部から漏れたりする場合は、無理に押込まず原因を取除いてから給脂してください。
- !** - 万一、グリースが人体に貫入した場合や目に入った場合には、直ちに専門医の診察を受け、適切な処置をしてください。また、皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、水と石鹸で十分に洗い流してください。

**⚠ 注意**

- !** - 給脂箇所により、給脂中のノズルやホース内は高圧となることがあるので手を添えないでください。
- !** - オプションのホース形状の給脂ノズルは経年劣化します。長くとも二年ごとに純正品と交換してください。
- !** - ご使用前にノズル先端キャップの緩みがないことを確認してください。
- !** - 油筒のロッドまたはチェーンを引いた状態で、油筒内部を覗いたり、油筒先端を人に向けたりしないでください。
- !** - オプションのホース形状の給脂ノズルの最小曲げ半径は 35 mm 及び 40 mm です。それ以下に屈曲させないでください。折れ癖がついた場合は純正品と交換してください。
- !** - 給脂先は開放状態でご使用ください、閉塞状態での使用は危険です。

### 3. 仕様

製品番号	型 式	全長 (mm) ※1	質量 (kg) ※1	油筒径 (mm)	容量(手詰) (mL)	カートリッジ (mL)	使用可能グリース (NLGI) ※2		吐出量/ ストローク (mL/st)	最高圧力 (MPa) ※3	標準 付属ノズル
							手詰	カートリッジ			
854654	GC-57K	371	1.55	φ 57	500	400 g(筒型)	No.2~3	No.2~3	1.0	50	CNP-2
854629	KH-120	232	0.51	φ 38	140	85	No.1	No.0~2	0.6	20	HSP-1
854627	KH-35	290	1.11	φ 59.6	400	210	No.1	No.0~2	1.0	25	HSP-1
854628	KH-32	412	1.27	φ 59.6	200	—	No.1	—	1.6	25	HSP-1
854626	CH-400	368	1.29	φ 59.6	—	420	—	No.0~2	1.0	50	HSP-2
854787	CH-650LL	401	1.30	φ 59.6	550	420	No.1	No.0~2	1.0	80	CNP-1
854655	KH-16	241	0.44	φ 38	140	85	No.1	No.1~2	0.4	10	CNP-2
854669S	KH-500S	368	1.30	φ 59.6	550	420	No.1	No.0~2	1.0	50	CNP-2 SPK-3C

※1. 上記仕様の全長・質量はノズルを含みません。

※2. NLGI No.の適用範囲は目安となります。グリースの性状によっては適用範囲でも使用できない場合があります。

※3. 表示の圧力は CNP-2 チェックノズル使用時 (CH-650LL は CNP-1) の最高圧力です。

## 4. 使用前準備と注意

### 4-1 準備

付属のノズルまたは純正オプション（ホース・ノズル）を、ハンドグリースガン本体のグリース出口（Rc 1/8 メネジ）ねじ込んで取付けてください。グリースは、機種により説明に従って充填してください。

### 4-2 給脂

グリースニップルとノズルの先端を綺麗に拭いてからノズルを接続し、レバーを往復させてください。正常に注入されていますと、ニップル付近の溝・隙間から古いグリースが押出されます。給脂する量は機械の取扱説明書を参照するか、古いグリースが完全に押出されるまでとします。給脂箇所によってはグリースが出ない場合がありますのでご注意ください。

### 4-3 保守・日常

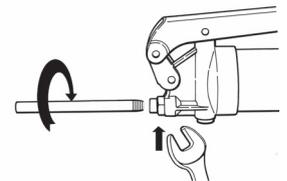
特別な保守点検は不要ですが、グリース内にゴミなどが混入しないように注意してください。また、給油口のニップルに泥・砂などが付着しないよう、ハンドグリースガンと共に確認・清掃してください。給脂の際、レバーの動きが重い（普段と比較して異常に強い力が必要）ときには、ニップルを点検してください。

### 4-4 注意事項

最初に使用する場合、グリースが出にくいことがあります。そのときは、必ずレバーを全開・全閉で操作してください。中途半端な操作では油筒内のグリースが吸引されません。

### 4-5 ノズルの交換

付属のノズルまたは純正オプション（ホース・ノズル）の取外し・交換をする場合は、ノズルの取付金具（本体部）をスパナで押さえて取外し、新たなノズルを取付け（交換）してください。



### 4-6 ニップルとノズルの接続

ノズルタイプ	グリースニップルタイプ	接続方法
標準ノズル	ハイドロリックニップル	ノズルの先端をニップルに垂直に押当てながら給脂してください。(Fig.1)
チャックノズル	ハイドロリックニップル	チャックノズルです。ニップルに垂直に押し込み、チャックさせてから給脂してください。ノズルをニップルから取外すときは、ノズルを傾け、内圧を抜いてから取外してください。(Fig.2)
ピンタイプ用	ピンタイプニップル	ニップルに垂直に押し込み、切り溝に沿ってニップルのピンまで完全にチャックをさせてから給脂してください。(Fig.3)
ボタンヘッド用	ボタンヘッドニップル	ホースの先端にチャックを横から差込んでから給脂してください。(Fig.4)
		※給脂時は、チャックが外れないように注意してください。 ホースの先端にチャックを横から差込み、上部のネジを締込んでから給脂してください。(Fig.5)

※グリースニップル形状については、「7. グリースニップルの種類」の項を参照してください。



Fig. 1

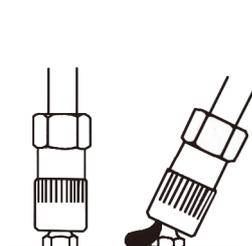


Fig. 2



Fig. 3

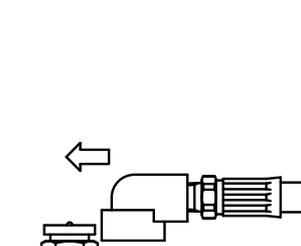


Fig. 4

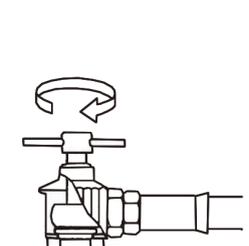
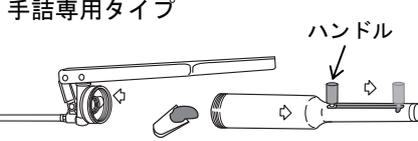
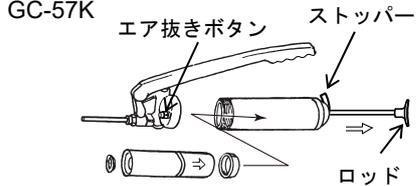


Fig. 5

## 5. 使用方法

グリースの充填方法		
<p>カートリッジ兼用タイプ</p>  <p>レバー 油筒 チェーン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取外してください。</li> <li>チェーンを引いて油筒底の溝にロックしてください。</li> <li>カートリッジグリース（指定 mL）のキャップを外してから本体にねじ込んでください。</li> </ol> <p>※カートリッジグリースを使用しない場合は、直接油筒にグリースを充填してください。このとき、グリース内にエアやゴミや砂などの異物が混入しないよう注意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒を本体に取付けてください。</li> <li>チェーンのロックを外し、油筒内に収納してください。</li> <li>レバーを 2~3 回往復させ、本体に入っているテストグリースがノズルの先端から出るのを確認し、混ざりがなくなった状態で使用してください。</li> </ol> <p>※グリースを直接油筒に充填して使用する場合に、レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1~2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。</p>	<p>手詰専用タイプ</p>  <p>ハンドル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取外してください。</li> <li>ハンドルを引いて油筒の少しくびれた箇所の切り溝にロックしてください。</li> <li>ヘラを使って少量のグリースを取り、油筒の縁より静かに充填してください。（指定 mL）このとき、グリース内にエアやゴミや砂などの異物が混入しないよう、十分に注意してください。一杯になりましたら 1~2 回油筒を軽く叩き、混入したエア抜きとグリースを整えてください。</li> <li>ハンドルを引いた状態のまま、油筒を本体に取付けてください。</li> <li>以上で充填完了です。補給も同様に行ってください。</li> <li>使用するときは、ハンドルを切り溝から外して、戻してください。スプリングの力でグリースが加圧されます。</li> </ol> <p>※レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1~2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。</p>	<p>GC-57K</p>  <p>エア抜きボタン ストッパー ロッド</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取外してください。</li> <li>手で油筒を持ち、もう一方の手でロッドを引いてください。ロッドは自動的にロックされます。</li> <li>筒型カートリッジグリースの両端の蓋を両方とも取外し、向きに注意して油筒に装填してください。</li> <li>油筒を本体に取付け、ストッパーを押すと、ロックが外れます。</li> <li>以上で装填は完了です。交換も同様に行ってください。</li> <li>使用中に、まだグリースがあるのにレバーを動かしてもグリースが出ないときは、グリース内のエアが原因です。ロッドを前後に往復させ、本体のエア抜きボタンを押して、内部のエアを逃がしてください。</li> </ol> <p><b>GC-57K 適用カートリッジ</b> 規格：BS4507</p>  <p>約236 約φ53.5 約φ54</p>

## ⚠ 注意



- 油筒を本体に取付けるときに、強く締めすぎるとパッキンが変形・破損し、グリース漏れが発生する恐れがあります。



- 油筒内にグリースを充填した状態で保管しないでください。グリースが漏れ出る場合があります。

## 6. 純正オプションノズル

すべてのレバー式ハンドグリースガンに取付可能です。

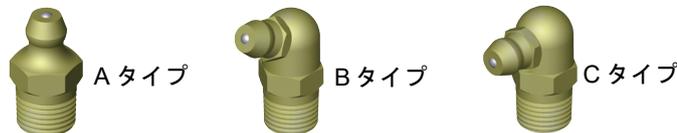
分類	製品番号	型式	全長(mm)	最小曲げ半径(mm)	質量(g)	用途
マイクロホース 常用圧力 21 MPa	850664	SPK-1C	355	35	141	ピンタイプニップル用
	855205	SPK-2C	373	35	160	ボタンヘッドニップル用
	850666	SPK-3C	330	35	83	ハイドロリックニップル用
	850478	SPK-1C-1M	1069	35	189	ピンタイプニップル用
	855206	SPK-2C-1M	1073	35	222	ボタンヘッドニップル用
	850480	SPK-3C-1M	1030	35	132	ハイドロリックニップル用
	850381	SPK-20C	377	35	320	ボタンヘッドニップル用
	851268	SPK-700E	705	35	160	ハイドロリックニップル用
	855271	SPK-3C-1.5M	1530	35	176	ハイドロリックニップル用
	805177	SPK-500S	572	40	300	ハイドロリックニップル用
	805178	SPK-1000S	1072	40	350	ハイドロリックニップル用
805252	SPK-1500S	1572	40	410	ハイドロリックニップル用	

※KH-16 に関して：マイクロホースをご使用の場合は、吐出部プラグを付替えてホースを組付けてください。

なお、SPK-2C、SPK-2C-1M、SPK-20C を取付けることはできません。

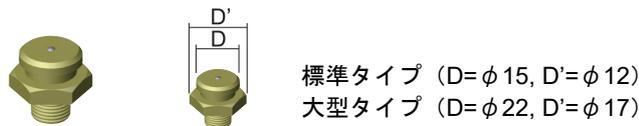
## 7. グリースニップルの種類

- ハイドロリックニップル  
HYDRAULIC NIPPLE  
JIS B 1575



一般的にベアリングや軸受けなどの給油口に 最も多く使用されているのがこのタイプです。  
ストレートタイプとアングルタイプがあり取付場所により選びます。

- ボタンヘッドニップル  
BUTTONHEAD FITTING



標準タイプ (D=φ15, D'=φ12)  
大型タイプ (D=φ22, D'=φ17)

土木・建設機械などの給油口に多く使用されているのがこのタイプです。  
ボタンサイズが大小あり、スライドして接続します。

- ピンタイプニップル  
PIN-TYPE FITTING



農機・鉄道車両などの給油口に使用されているのがこのタイプです。  
凹形状の内部に取付けられ、上部に蓋がある場合もあります。

グリースニップルの頭部は JIS (日本)、SAE (アメリカ)、DIN (ドイツ) など各国共通ですが、弊社の製品は JIS の規格に合わせて製作しております。最近この規格に合わない寸法もありますので確認、注意が必要です。

## 8. 保証規定

- 1.保証期間：**製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容：**保証期間内に、正常なご使用及び適正な保管・保守をされたにも拘わらず、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、修復費用は全額負担いたします。ただし、二次的に発生する損失の補償は対象外とさせていただきます。
- 3.適用除外：**期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
  - (1) 構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
  - (2) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品。
  - (3) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- 4.補修部品：**補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。5年を経過したものに付きましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**株式会社ヤマダコーポレーション**

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 FAX (03)-3777-3328

**製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055**

202105.2555 OSA074U